



～143年の歴史に幕を閉じる～
見岳小学校

見岳小学校は、明治6年の開校以来、多くの子どもたちを心豊かに育み、素晴らしい実績を積み重ねてきました。昭和31年には保健体育研究校として文部省表彰を受賞、平成9年には文部省の指定を受け、地域・保護者の方々と一体となったすばらしい生活科学研究発表は、県下においても模範となりました。その他、少年ソフトボールクラブやミニバスケットボールクラブの九州大会出場など、スポーツ面でも輝かしい活躍がありました。平成20年度から始まった、市内唯一の「森の学校」の活動も、地域の特性を生かした特色ある教育活動となっていました。



～143年の歴史に幕を閉じる～
西有家小学校

明治6年に開校した西有家小学校は、校舎の窓から雲仙普賢岳、目を移せば有明海を望むことができる恵まれた環境を有し、多くの子どもたちがこの自然の美しさや歴史の風を感じながら、地域や保護者の人たちの愛情に包まれて心豊かに成長しました。また、作文教育や学校図書館教育における実践は県内の他の小学校のモデルとなるもので、平成23年には子どもの読書活動優良実践校として「文部科学大臣表彰」を受賞しました。現在の西有家小学校は閉校となるものの、これまでの歴史と伝統は新たな西有家小学校へと受け継がれ、この学び舎に新しい歴史が刻まれていくことになりました。



～142年の歴史に幕を閉じる～
長野小学校

明治7年に開校した長野小学校は、平成3年に優良PTA文部大臣賞を受賞し、地域・保護者の方々と一体となつたすばらしい実践が評価され、県下においても模範となりました。また、平成25年度から3年間、長崎県教育ICT推進事業のモデル校指定を受け、ICT機器を活用した授業づくりを近隣校へ広げる役割を担いました。まさに、地域の特性を生かしながら教育の最先端に挑戦し、地域とともに子どもたちの育成に尽力してきました。



～141年の歴史に幕を閉じる～
龍石小学校

龍石小学校は、明治8年に開校し海あり山あり、自然豊かな教育環境の中で、地域と一体となった学校づくりが推進され、地域とともに発展してきました。昭和41年には、「健康優良学校」として長崎県で第1位となり、文部省・厚生省から表彰を受けました。米作りや芋植え、「ふれあい市」などの行事が行われており、子どもたちは、保護者や地域の人たちの深い愛情に包まれ、心豊かに成長してきました。



～5校の思いを1つに～
新たな歩みがここからはじめる
西有家小学校が開校

統合となる西有家地区の5校は、新たに西有家小学校として生まれ変わりますが、これまでの5校の歴史と伝統は確実に新小学校へと引き継がれ、新たな歴史を刻みはじめます。



5つの花びらは旧5校を表し、花びらの中の緑のデザインは小学校の「小」で、子どもの顔を表現しています。また、花びらが囲む校章の中心に「西」の文字を表現し、5つの学校が集まってみんなで力を合わせて新しい西有家小学校をつくりあげていきたいという思いが込められています。



～141年の歴史に幕を閉じる～
慈恩寺小学校

慈恩寺小学校は明治8年、慈恩寺名西上木場に「慈恩寺小学校」として開校し、「南島原市立慈恩寺小学校」に至るまで、郷土の将来を担う児童を心豊かに育み、素晴らしい実績を積み重ねてきました。プロ野球「阪神タイガース」で活躍する江越大賀選手も慈恩寺小学校の卒業生であり、子どもたちも先輩の姿を追い、夢を抱き続けています。